



TITLE:

表紙・目次・編集後記

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次・編集後記. 公共空間 2010, 4

ISSUE DATE:

2010

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/143650>

RIGHT:

本誌掲載の写真・イラスト・記事の無断転載・二次利用はお断りいたします

公共空間

2010 Spring

特集 政権交代の先に

— 巻頭インタビュー —

福山哲郎外務副大臣に聞く

本誌編集委員

— 政権交代と政治不信と —

京都大学公共政策大学院客員教授

朝日新聞編集委員

坪井 ゆづる

— 政権交代の意義と日本政治の課題 —

京都大学大学院法学研究科教授

中西 寛

— 政権交代による政策決定過程の変容 —

本誌編集委員

～Essay～

かけがえのないひと時

前京都大学公共政策大学院院長

京都大学大学院法学研究科教授

大石 眞

「粹」を超える

京都大学公共政策大学院同窓会「鴻鵠会」会長

(一期生)

手嶋 隆行

～座談会～

就職活動を語る

～学生投稿～

後発開発途上国に対する適応支援のため

の国際制度をめぐる課題と展望

京都大学公共政策大学院三期生

栄久庵 太郎



『公共空間』編集委員会

京都大学公共政策大学院

Kyoto University School of Government

★編集後記★

かつて鄧小平は、「白でも黒でも鼠を捕るのが良い猫だ」と言ったとされる。政権交代を考える上でも重要なのは、その政権が「白か黒か」ではなく、ちゃんと「鼠を捕る」か否かであること。さて、小誌が「鼠を捕る良い猫」となっているかは、読者諸賢の判断に委ねたい。(長)

我が編集委員会でも政権交代が起こり、新体制が発足しました。とはいっても、政権移行の準備は着々と行われていたので、茶番劇は無さそうです。諸事情により、私はもう一年残ることにしたので、元老西園寺公望のように編集委員会を輔弼しようと思っています。(野)

手元に自分が関わった『公共空間』を並べてみると、思い出深いの一言です。取材やら座談会やら、好き勝手出来て、本当に楽しかったです。関わってくれた全ての人に感謝！(梅)

最近マイブームが、UNCHAINというバンドです。でかい音と少ない言葉で伝える彼ら。文字を駆使する雑誌作り。どちらも難しいですね。前者は経験したことないけど、そう思います。(小)

初めて『公共空間』を手にとって一年。某編集長と握手を交わして一年。「もうそんなに経ったのか…」という感じです。今号に携わってくれた方、ありがとうございます。(川)

英国人の諺に、“Something of everything”とあるらしい。“Something of everything”が“Everything of something”か、君は11の1年間は何を学ぶ。(寺)

修了後に大学院での出来事を思い返した時、仕事で役立つ能力を一番身に付けられた場が『公共空間』でした。感謝と共に、弊誌の編集者に参加できたことを光栄に思います！(蛭)

『公共空間』 二〇一〇年 春号

発行人 『公共空間』編集委員会

編集長 長谷川 智史

副編集長 野口 裕明

編集委員 梅原 悠太(修了生)

小畑 勇二郎

川井 三希子

寺井 裕介

蛭間 政広(修了生)

編集顧問 真淵 勝

編集協力 小屋敷 浩 木幡 飛一

池田 有紀美 坂下 俊輔

岩橋 建樹 川口 紗弥香

竹内 淑恵

京都大学公共政策大学院『公共空間』編集委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学 法学公共政策大学院掛

TEL 075-753-3126

本誌掲載の写真・イラスト・記事の

無断転載・二次利用はお断りいたします

雑誌『公共空間』学生投稿募集について

雑誌『公共空間』は学生投稿枠を設け、皆さんの原稿を募集します。

募 集 要 綱

1. 内容

【自由テーマ投稿】

公共政策に関するものであれば、テーマは自由です。授業で作成したレポートやプレゼンテーション資料を用いても構いません（ただし、文書形式でお願いします）。

2. 字数と書式

3500～4500 字程度。書式は自由。

3. 応募締め切り

各号毎に締め切りを設定します。

4. 応募条件

本公共政策大学院に在学する学生であること。

5. 応募宛先

件名に「『公共空間』自由テーマ投稿応募」と明記の上、

koukyoukukan@yahoo.co.jp まで、ご連絡下さい。

なお、その際におおまかなテーマについてもお伝え下さい。

6. その他

応募多数の場合などは、編集委員会で協議の上、執筆者、掲載原稿を決定させていただきます。

